

A

3 スタートカリキュラム

☆カリキュラムの見直し

・単元配列表、週案などを児童の実態に合わせてアップデートし、次年度に生かす。

☆学校からスタートカリキュラムの発信

・入学説明会や初めての懇談会等でスタートカリキュラムの意義やねらいを丁寧に伝え、保護者に安心感を与える。

☆子どもの実態を把握し、指導に生かす

・園へ直接訪問し、子どもの様子を見ることや教職員から直接聞いたり、要録を見たりして実態を把握する。



【つながる・ひろがるハンドブック札幌市幼保小連携・接続】→

< 4 月第 1 週の例 >

	月	火	水	木	金
登校 鞆		登校してから朝の会までにすることを繰り返し、習慣化していく。その際、掲示物を効果的に用いるなど、教室の環境構成を工夫し、子どもが進んで取り組む姿を価値付けていく。			
1	音 生 道	音 道	音 道	音 道	音 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
2	音 生 道	音 道	音 道	音 道	音 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
3	音 生 道	音 道	音 道	音 道	音 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
4	音 生 道	音 道	音 道	音 道	音 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
		国 道	国 道	国 道	国 道
時数	●国語 2・1/3 ●算数 1 ●生活 1・2/3 ●音楽 2 ●体育 1 ●道徳 1 ●図工 1・1/3 ●学活 2・2/3				

入学式

☆スタートカリキュラムのマネジメント

○子どもの姿とともに指導を振り返る

小学校生活において10の姿は、子ども一人一人によっても変わり、教育者によっても見方が異なる場合がある。学年会等で、子どもの姿について情報交換し、指導の振り返りを行う。

○園との連携

園の教職員と、保育参観や学習参観、研修会等を実施し互いに保育・学習指導の在り方や、育てたい子どもの姿に関して意見交換し、幼児期の学びを踏まえた活動を取り入れたり、スタートカリキュラムの見直しに生かしたりする。

【つながる・ひろがるハンドブック

札幌市幼保小連携・接続】→



○校内で組織化

担当が変わっても、誰でも活用できるように職員会議で全職員と共通理解を図る。

学年カリキュラムや単元配列表とリンクさせ、各教科等横断的な指導の充実を図る。

☆生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実

・遊びなどの体験的活動を通して学ぶこの時期の子どもの発達の特性を踏まえ、生活科を中核とした合科的・関連的な指導の工夫を図る。



探検してきたことを
絵で表現する



・学校のことに興味津々である子どもの新鮮な思いを活動の核にして学習を進める。
・学校を探検する過程で、学習への関心をもつことが考えられる。それを教師が見逃さずに関わることで、必然性をもって国語科や算数科等の教科学習につなげていくようにする。



たくさんあるな。いくつあるんだろう。



他の物も数えてみよう！

C

☆週案作りのポイント

・生活科「わくわくどきどきしょうがっこう」の学習を中心に、生活上のきまりを指導したり、徐々に学習の要素を組み入れて違和感なく教科学習に移行できるようにしたりするなど、子どもの主体性が高まるように時間割を意図的に組むようにする。

☆一人一人の児童の成長の姿からデザインするカリキュラム作成

・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、週の計画を立案することで、児童は幼児期の教育を通して育んできた資質・能力を更に伸ばすことが可能となり、自己を発揮して学びに向かっていく。



【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

【小学校生活において表れる10の姿】→

健 健康な心と体 自立 自立心 協 協同性 道 道徳性・規範意識の芽生え 社 社会生活との関わり 思 思考力の芽生え
自然 自然との関わり・生命尊重 数 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言 言葉による伝え合い 豊 豊かな感性と表現

< 4 月 第 2 週 の 例 >

	月	火	水	木	金
敬 詞	登校してから朝の会までにすることを繰り返す、習慣化していく。教師は笑顔と共感的な態度で子どもを迎え、安心して1日をスタートできるようにする。				
1	音 ・歌や手遊び はるがきた 協 思 言	音 ・校歌を覚えよう なんていおうかな 協 思 言	音 ・校歌を歌おう かくこと たのしいな 協 思 言	国 ・読み聞かせ おはなしききたいな ・図書室の使い方 ・本の借り方 道 社	音 ・校歌を歌おう こんなもの みつけたよ 協 思 言
2	道 みんなてたのしく 思 数 言	算 なかよしあつまれ 思 数 言	算 たりるかな 思 数 言	体 おにあそび 健 自 立	算 いくつか 思 数 言
3	国 ・読み聞かせ おはなしききたいな 健 自 立 協 道 社	道 わくわくどきどき しょうがっこう ・校内を探検し、様々な教室やそこにいる人を見付ける。 ・探検で見付けたことや「？」を絵や文で表現する。 こんなものみつけたよ 数 言	体 おにあそび 健 自 立	生 わくわくどきどき しょうがっこう ・校内を探検し、様々な教室やそこにいる人を見付ける。 ・探検で見付けたことや「？」を絵や文で表現する。 こんなものみつけたよ 健 自 立 協 道 社	図 どんどんかくのは たのしいな 自 立 言 豊
4	学 ・給食準備の仕方 健 自 立 協 道 社	生 探検で見付けた蛇口の数を数える。 なかよしあつまれ 数 言	学 ・掃除の仕方 健 自 立 協 道 社	生 探検で見付けた蛇口の数を数える。 なかよしあつまれ 数 言	図 どんどんかくのあ たのしいな 自 立 言 豊
5	音 うたっておどって なかよくなるう 協 道 豊	算 なかよしあつまれ 数 言	音 ・歌や手遊び こんなものみつけたよ 思 数 言 豊	国 なんていおうかな あいさつでげんきに 自 立 道 豊	音 うたっておどって なかよくなるう 協 道 豊
時 数	●国語7 ●算数3・2/3 ●生活2・2/3 ●音楽3・2/3 ●体育2 ●道徳2 ●図工2 ●学活2				

☆児童の発達の特徴を踏まえた学習活動の工夫

・学習の初めに、幼児期に親しんできた歌や手遊び、本の読み聞かせ等を行い、子どもが楽しい気持ちで迎えられるようにする。



・座学を連続させないように体を動かしたり、場所を移動したりする学習を間に挟むようにして、子どもが意欲や集中を持続できるようにする。

・生活リズムや集中する時間を大切に、10~15分程度の短い時間を活用したり、思いや願いの実現に向けて2時間続きの学習活動を位置付けたりと柔軟に組み替えていく。



☆安心して自ら学びを広げていけるような学習環境の整備

・1日の流れや朝の支度の手順など、見通しをもって生活したり、机の中や道具箱の整理整頓など、生活上のきまりを理解したりできる掲示物を活用する。



・トイレや水飲み場の使い方、廊下歩行、給食指導といった指導も、児童が必然性を感じるタイミングで行うようにする。紙芝居やクイズ形式にするなど、絵や図などの視覚的な情報が多いと子どもは、安心して学ぶことができる。

